

第 41 回運営推進会議議事録

～グループホームつながり～

出席者

・ 民生委員様	3 名
・ 地域包括支援センター様	1 名
・ GH つながり	1 名

1. 自己紹介

・ 民生委員様

- ①3 期目となります。以前にも参加させてもらいましたが
今期も宜しくお願いします。
- ②今回はじめての参加です。自宅が非常に近いので
また寄らせていただく事もあると思います。
- ③今回初めての参加です。宜しくお願いします。

・ 地域包括支援センター様

函南町役場福祉課より委託され出席しました。
宜しくお願いします。

2. 理念紹介

『ゆっくり ゆったり ありのままに いつもにこにこ』
この理念に基づいて入居者の方々に関わらせていただいています。
月に 1 度の会議の中でも再確認する時間を設けています。

3. 12 月・1 月の入居者様の状況

現在満床です。
前回からの変化・男女比・平均介護度など別紙参照。

第41回運営推進会議

グループホームつながり

R2.1.24

1月



グループホームつながり

理念

ゆっくり

ゆったり

あいのままに

いつもにここにこ



登録数18名

男性 6名

女性 12名

	1月				
	前回推進会議時	更新時変更	新規	終了	合計
要支援 2					
要介護 1	3	-1			2
要介護 2	6	1			7
要介護 3	6		2		8
要介護 4	1				1
要介護 5					
申請中					
合計	16		2		18

平均介護度 2.4

日々の活動

バイタル測定

創作活動

入浴

ラジオ体操

口腔体操

散歩

洗濯物干し

洗濯物たたみ

調理補助

居室・フロア清掃

その他

買い物

ヘアカット

病院往診・受診

訪問歯科

訪問リハ

ボランティア・サロン

1月の職員研修

ACPについて話し合おう！



もしものときのための話し合い
人生会議
厚生労働省

「人生会議」

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の愛称

お墓や葬儀などの事前準備をする“終活”だけでなく
約70%が医療・ケアなどを自分で決めたり
望みを伝えられない現状を踏まえ
もしものときのため望んでいる医療やケアについて
前もって考え、家族等や医療ケアチームと
繰り返し話し合い共有する取組

厚生労働省HPから

厚生労働省の調査(2017年)

- 回答 60% → 「人生の最終段階における医療について関心がある」
- 回答 40% → 「詳しく話し合っている」「一応話し合っている」

人生 会議

人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組みを「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」と言い、その愛称が厚生労働省の会議で「人生会議」に決定しました。



「最期」の時までの過ごし方を考えたことはありますか？

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。命の危険が迫った状態になると、約70%の方が「どんな治療を受けるか」「どんな生活をしたか」という希望を伝えることができなくなるとわれています。

『自分の死』が近くなる時までに「あんなことしたいなあ」「こんなことはしてほしくないなあ」などの思いついたことを、普段からいろんな人と一緒に話しながら、少しずつ、その気持ちを残していくことをしていきませんか？それは人生の最終段階にどんな医療を受けたいかも含みます。

このような前もっての話し合いは必要ないと思われるかもしれませんが、ですが、話し合いをしておけば、万が一あなたが自分の気持ちを話せなくなった時、あなたの心の声を伝えることができるかけがえのないものになります。そして、信頼する人があなたの代わりに治療やケアについて難しい決断をする際の重要な助けとなります。家族や信頼できる方と、あなたの人生で大切にしている事などを対話する機会を持つてみてはいかがでしょうか？

※厚生労働省ホームページを参考に作成。作成にあたり、美作市上山地区のコミュニティナースの方にもご意見を頂きました。ありがとうございました。



院長の認知症コラム 認知症になっても意思表示をすることはできます。しかし、理解力や判断力が低下し、些細なことで意見が変化したり、他人や身内に誘導されやすくなり、ご本人の意思を尊重した医療やケアを行うことが難しくなってしまいます。認知症などで意思決定が難しくなる場面を想定し、事前に話し合いをしておくことは、ご本人はもちろん、ご家族の幸せにも繋がると思います。

COLUMN
「認知症と人生会議」

気づき・アクシデント 12月・1月

・ アクシデント 4件

内容:I・O 様 1月9日(木) PM4:00

居室内で荷物を持ちふらつくO様を発見し駆けつけるが間に合わず転倒される。
すぐに介助で立ち上がっていただく。外傷確認するも無く、痛みの訴えもない。
BP 139 / 76 P85 KT36.7 °C 様子観察とし、夜勤者にも申し送る。

・ 気づき 16件

内容:K・K 様 12月17日(火) PM7:25

就寝時、オムツを装着する際、左鼠径部・陰部に出血見られる。(皮がむけてにじむ程度)
アズノールを塗布し対応した。

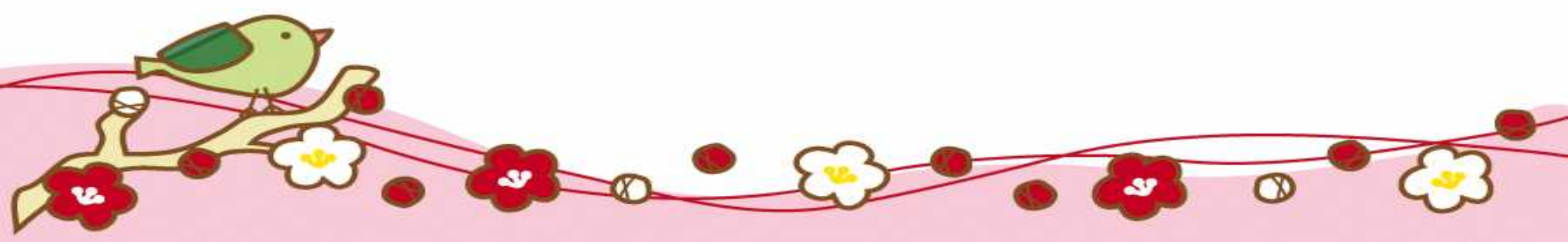
内容:Y・M 様 1月21日(火) PM1:30

居室内で車椅子から立ち上がり、移動し始めた所を発見する。
職員がすぐに2名駆けつけ1名がM様を支え、1名が車椅子を寄せて座っていただく。



ありがとうございました。

グループホーム つながり
☎055-970-2938



4. 日々の活動内容

別紙参照

5. 普段の様子

別紙参照

6. 1月の職員研修

ACPについて

別紙参照

7. 気づき・アクシデント報告

別紙参照

8. 出席された皆様より

- ・グループホームが地域密着型サービスで、函南町の方しか利用できないという事は全く知りませんでした。
- ・認知症の方は記憶はほとんど無いのですか？
☞ 最近の事・つい先ほどの事は忘れてしまう事がありますが、昔の事はとてもよく覚えていらっしゃる事が見られます。
- ・入居されている方同士で諍いはありませんか？
☞ 全くないとは言いきれません。例えば帰宅願望の強い方が大きな声を出したとします。それに対して『うるさい』と怒鳴る方もいます。そのような時は職員が間に入り対応します。
- ・職員の人数は入居者の人数に対して決まりがあるのですか？
☞ あります。入居者様3名に対して職員1名の配置が義務付けられています。
- ・認知症の方に対してイライラする事なく対応出来るのはなぜですか？
☞ 認知症についての勉強もしていますし、ある程度の事を想定内とする事で心構えが出来ていますのでイライラしたりはしません。しかし介護者も人間ですから、精神的に不安定であったり、体調が優れない時は感情のコントロールが上手くできない事もあります。その様な時は一人で対応せずにチームで関わる様にしています。

9. 次回運営推進会議日程

令和2年3月26日（木）14:00～